



## 喜怒哀楽

### 『煩惱の数』

今号で当社報は一〇八号となります。この一〇八という数字。仏教では煩惱の数とされ、除夜の鐘で撞き清める数としても有名です。しかし、この煩惱の数の根拠というのは、実は曖昧なのだそうです。八百万と同じで、とても多い数を表すものといわれています。

しかし、まったく根拠が無いという訳でもなく、一説には、人間の五感である視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚に、意識を足した「六感(六根)」を、それぞれ好(よい)、悪(わるい)、平(どちらでもない)の三分類と、さらに浄(きれい)、染(きたない)の二要素、そこに、前世、現世、来世の三世をそれぞれ、六×三×二×三と掛け合せると一〇八という数字になるので、そこから来ているという説もあるようですが、他にも説は多々あり、これといった論拠がある訳でも無いようです。

江戸時代に井原西鶴が「人間は欲に手足の付たる物ぞかし」と説いているように、人は生きていくだけでも欲という煩惱に囚われているのが当たり前で、むしろ煩惱が無くては生きていけないともいえます。しかし、その煩惱の数が一〇八以上にあふれて、迷惑をかけるようになってしまつては大変です。

そこで、先人はそういった過分な煩惱を戒める為にも、節目節目においては、神仏を尊び、袂い清めるといふ心を大切にしてきたのかもしれない。

今号で一〇八号となつたいま、こだわり過ぎず、とられ過ぎず、締め切りを忘れない程度に煩惱と付き合っていきたい思っています。

### 『茶屋町菜の花のイベント』

今年も、三月下旬から四月上旬にかけて茶屋町・鶴野町界隈を菜の花で彩る、「菜の花の散歩道二〇一四」が開催されます。期間中は茶屋町の地域の皆さんで育てられた菜の花が街角に飾られ、今月二十九日、二十八日の両日には茶屋町ハンドメイドマーケットが開かれます。また、四月五日には左記の通り、落語会が当宮御旅社で開催され、さらに四月四日、六日にかけては毎日放送のイベントもあり、大変賑やかな春になりそうです。

### 『桂佐ん吉さん落語会』

来月の四月五日(土)の午後二時(開場午後一時三十分)から、茶屋町の御旅社で桂佐ん吉さんの落語会があります。(有料五百円から)

- ・一回目 午後二時から
  - ・二回目 午後二時四十分から
  - ・三回目 午後三時二十分から
- 詳細は、さかいひろこ MOJIS まで

TEL 〇六一六一五五―五五六一

### 『毎日放送 新社屋オープン』

来る四月四日午前十一時七分九秒に、茶屋町にあります毎日放送の新社屋がオープンされます。日にはMBSテレビの四チャンネル。時間はMBSラジオの周波数一一七九からもじつてオープンの日時にされたそうです。

地上十五階、地下一階、2つの大型スタジオ、ヘリポート、電波鉄塔まで備え、免震構造を取入れた、最新鋭の放送局が出現します。

また旧社屋も一階部分を大幅に改装され、街ゆく人に楽しんで頂ける施設に生まれ変わる予定です、さらにオープンの四月四日、六日の三日間は茶屋町、鶴野町、また中崎のあたりをも含めた大きな街あそびイベントも企画されているそうです。当日は大勢の参加者で街が賑わう事となりそうです。

### 神社携帯サイトのQRコード

ドコモ、ソフトバンク、au、モバイルPC 対応



編著 網敷天神社 禰ぎ (神主)

白江 秀知

